

平成 25 年度 事業報告

当機構の目的を達成するため、次に掲げる事業を行った。

1 評議員会・理事会開催状況

会 議 名	開 催 日	内 容
平成 25 年度第 1 回臨時理事会	平成 25 年 5 月 17 日 書面による理事会	・平成 25 年度第 1 回臨時評議員会の書面開催
平成 25 年度第 1 回臨時評議員会	平成 25 年 5 月 30 日 書面による評議員会	・役員等の選任
平成 25 年度第 1 回通常理事会	平成 25 年 6 月 4 日 ホテルオークラ福岡	・平成 24 年度事業報告 ・平成 24 年度収支計算書並びに財務諸表 ・平成 25 年度第 1 回定時評議員会の招集及び提出議案 ・理事長・副理事長の選任 ・業務実施状況報告
平成 25 年度第 1 回定時評議員会	平成 25 年 6 月 25 日 西鉄グランドホテル	・平成 24 年度収支計算書並びに財務諸表 ・平成 24 年度事業報告 ・理事長・副理事長の選任
平成 25 年度第 2 回臨時理事会	平成 25 年 9 月 9 日 書面による理事会	・平成 25 年度第 2 回臨時評議員会の書面開催
平成 25 年度第 2 回臨時評議員会	平成 25 年 10 月 4 日 書面による評議員会	・評議員の選任 ・理事の選任
平成 25 年度第 3 回臨時理事会	平成 26 年 2 月 27 日 書面による理事会	・平成 25 年度第 3 回臨時評議員会の書面開催
平成 25 年度第 3 回臨時評議員会	平成 26 年 3 月 13 日 書面による評議員会	・評議員の選任
平成 25 年度第 2 回通常理事会	平成 26 年 3 月 14 日 ホテルオークラ福岡	・平成 26 年度事業計画 ・平成 26 年度収支予算 ・平成 25 年度第 2 回定時評議員会の招集及び提出議案 ・業務実施状況報告
平成 25 年度第 2 回定時評議員会	平成 26 年 3 月 28 日 西鉄グランドホテル	・平成 26 年度事業計画 ・平成 26 年度収支予算

※書面による理事会・評議員会の開催日は、決議書提出日

2 事業の概要

(1) 学術研究に関する広報活動事業

① セミナー・説明会等の開催

i 「九州大学学術研究都市セミナー in 名古屋」

- ・テーマ：「水素エネルギー社会の構築を先導する九大学研都市」
- ・開催日時：平成25年9月27日 14:00～18:30
- ・開催場所：ヒルトン名古屋
- ・参加者数：120名

ii 「第9回九州大学学術研究都市情報交流セミナー」

- ・テーマ：「水素社会と九大学研都市」
- ・開催日時：平成25年7月16日 14:00～18:30
- ・開催場所：ホテルセントラーザ博多
- ・参加者数：88名

iii O P A C K 交流会の開催

九州大学の研究者と地場企業の交流、産学連携の契機づくりの場を提供するため、(一財)化学物質評価研究機構(CERI)と連携し公開講座並びに交流会を開催した。

「CERI公開講座」(OPACK共催)

- ・開催日時：平成25年6月1日～平成25年12月21日(年14日間開催)
- ・開催場所：福岡市産学連携交流センター 交流ホール
- ・参加者数：約560名

「OPACK交流会」

- ・開催日時：平成25年7月13日、平成25年12月21日(年2回開催)
- ・開催場所：九州大学伊都キャンパス内「天天」
- ・参加者数：64名

「OPACKセミナー・交流会」

- ・開催日時：平成25年12月10日
- ・開催場所：福岡市西部地域交流センター(さいとぴあ)
- ・参加者数：34名

iv 「その他出展活動」

- ・再生可能エネルギー先端技術展2013(10/16～18、西日本総合展示場)
- ・nano tech 2014(1/29～1/31、東京ビッグサイト)
- ・FC EXPO 2014(2/26～2/28、東京ビッグサイト)

② 国省庁等への要望活動

i 国省庁等への要望活動

平成25年7月23日、関係省庁(内閣府、文部科学省、経済産業省、国土交通省の1府3省庁10関係課等)に対し、九大学研都市の現状説明並びに学研都市構想の推進に必要な事項に関する要望活動を実施した。

ii 地元選出国會議員等への要望活動

- ・国會議員等への訪問活動(9/10、1/16、1/30：年3回実施)
- ・国會議員による九大学研都市視察(8/23、10/8、12/2、1/22：年4回実施)

③ 九大学研都市情報のプラットフォーム

i ホームページの活用

当機構の活動についての情報発信を行った。

ii メールマガジンの発行

九大学研都市の活動並びに関係機関・団体等の情報をタイムリーに発信した。
(年28回)

iii 機構ニュース「OPACKめーる」の発行

当機構の業務や学術研究都市に関する情報提供のため、機構ニュース「OPACKめーる」を定期的(年3回)に発行した。

- ・発行時期：年3回(6月、9月、1月)
- ・発行部数：各号2,500部

④ その他の広報活動

i プラズマディスプレイの活用

JR九大学研都市駅に、情報発信ツールとしてモニターテレビを設置し、九大学研都市の情報や九州大学の情報など、様々なコンテンツ情報を発信した。

(2) 産学官の共同研究による研究開発支援事業

① 分析クラスター形成推進事業

新物質・新技術の研究開発や研究成果の実用化に必要な「計測・分析」の機能に対する企業・研究機関等の需要増大に着目し、九大学研都市における分析クラスター形成への取組みとして「第54回分析化学講習会」の開催を支援した。

- ・開催日時 平成25年8月7日～平成25年8月9日
- ・開催場所 九州大学伊都キャンパス、福岡市産学連携交流センター
- ・参加者数 65名

② 最先端研究プロジェクトの支援

九大学研都市の研究開発拠点形成、立地促進に向け、最先端有機光エレクトロニクス研究センター(OPERA)のプロジェクト等を積極的に支援した。

- ・「TADF(熱活性型遅延蛍光材料) International Workshop」開催支援(OPACK共催)
- ・TADFを用いた有機ELパネル試作支援

③ 学研都市を実証フィールドとする研究プロジェクト

九大学研都市を実証フィールドとする産学官連携研究プロジェクトの創出を図るべく、地域的課題に関する情報収集や、4つのコアターゲット分野以外のテーマ検討に関する情報収集を行いながら、当エリアにおける実証実験プロジェクトの絞込みを実施した。その結果、「木質バイオマスの利活用」が有望であると判断。

④ 超高圧電子顕微鏡フォーラム

九州大学超高圧電子顕微鏡室と連携して、九州大学保有の電子顕微鏡の民間企業への開放を行うフォーラムの運営並びに勧誘活動を実施した。(会員企業数：8社)
また、ナノテク産業化基盤技術の有効活用及び高度化と融合を目指した研究・技術懇談会を平成26年3月7日に九州大学伊都ゲストハウスにて開催した。

(3) 産学連携交流支援事業

① 都市形成調査

九大学研都市構想の実現・企業立地の促進に求められる「知・住・悠の舞台となる快適空間の形成」に向けて、その具体化に必要な取り組みを行った。

- i アーバンデザイン会議九大の開催（7回／年）
- ii 九大学研都市・外国人にも住みやすい環境整備推進会議の開催（1回／年）
- iii 九大学研都市交通手段等検討会の開催（4回／年）
- iv 九大学研都市接続バス導入ワーキンググループ会議の開催（3回／年）
- v 地域交流イベント（ミコサト、お祭り等）の開催（3回／年、約2,200人来場）

② 産学連携交流センターとの交流事業

産学官連携の先導的役割を果たす「福岡市産学連携交流センター」が実施するナノ・バイオを中核とした様々な取組みを関係機関と連携して行うとともに、同センターの九州大学の研究者や入居企業との交流を行った。

- i 研究サポート機能等の新たな機能付加検討
- ii 2号棟開所記念講演会の共催
- iii 2号棟入居者の発掘
- iv 活動報告等紹介媒体の作製
- v その他交流会等への参加

③ 九大学研都市産学連携推進会議

学研都市内に進出・立地する研究機関、企業の連携を図るための推進会議を12月10日に開催し、16団体が参加した。

(4) 研究機関等の立地支援事業

① ほたる、タウンオンキャンパスへの企業誘致活動等

企業誘致の重点分野である「水素エネルギー」「ナノテクノロジー」「半導体」「自動車」の4分野の企業に対し、九大学研都市の強みをアピールし、誘致活動を行った。

平成25年度は、「水素エネルギー製品研究試験センター（HyTReC）」、「最先端有機光エレクトロニクス研究センター（OPERA）・有機光エレクトロニクス実用化開発センター（i³-OPERA）」、「三次元半導体研究センター・社会システム実証センター」の利活用の可能性の高い企業や、過去訪問企業のうち重点4分野に注力していると思われる企業などを中心に訪問活動を実施し、全国の水素エネルギー分野15社、ナノテク・バイオ分野8社、半導体分野9社、自動車分野13社、その他5社、地場企業22社の合計72社への企業訪問活動を行った。

② 企業向け現地説明会の開催

九大学研都市への企業・研究所の誘致を推進するため、各立地用地の開発状況や産学連携施設、九州大学伊都キャンパスの先端研究施設及び周辺の魅力的な環境などを視察する現地説明会を実施した。

- i 現地説明会（定例）
 - ・開催日時：平成25年11月17日
 - ・参加人数：10社／17名
- ii その他、個別に企業7社のほか、13団体の現地視察を別途実施した。

③ 研究サポート企業等の誘致

九州大学の研究をサポートする科学機器関連企業等の誘致活動を行った。

i 視察説明会

- ・開催日時：平成25年11月21日
- ・参加人数：科学機器取扱いメーカー7社／9名

事業報告の附属明細書

平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構
理事長 貫 正 義

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則
(平成十九年四月二十日法務省令第二十八号)

第四款 事業報告

第三十四条 法第二百二十三条第二項の規定により作成すべき事業報告及びその附属明細書については、この条の定めるところによる。ただし、他の法令に別段の定めがある場合は、この限りでない。

2 事業報告は、次に掲げる事項をその内容としなければならない。

- 一 当該一般社団法人の状況に関する重要な事項（計算書類及びその附属明細書の内容となる事項を除く。）
- 二 法第七十六条第三項第三号及び第九十条第四項第五号に規定する体制の整備についての決定又は決議があるときは、その決定又は決議の内容の概要

3 事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項をその内容としなければならない。